「香美市行政改革大綱」が策定されました

行財政改革につきましては、旧町村時代から取り組んできましたが、少子高齢社会の進行は、中山間地域の社会・経済環境等を著しく悪化させており、地方自治体の運営をも危うくしています。

このような情勢の中、平成18年３月１日、合併という大きな行政改革を実施し、香美市が発足したところですが、逼迫する財政状況下で地方分権や厳しい社会情勢等に対応し、かつ多様化する市民ニーズに応えていくのは難しい状況です。

そこで、将来世代に責任が持てる行財政運営を図るために香美市における行政改革大綱を策定し、財源や資源を有効かつ最大限に活用するなど減量化に終始することなく、時代の要請に応えられる体制を確立するための行政改革を推進していきます。

◆計画期間

平成18年度から平成21年度までの４年間。

◆推進体制

市長を本部長とする「香美市行政改革推進本部」が中心となり改革を推進し、その下部組織である「香美市行政改革実施計画策定委員会」において実施計画を作成するなど、全庁体制で行政改革に取り組んでいきます。また、市民等により構成される「香美市行政改革検討委員会」では、行政改革の推進に関する必要事項について審議し、市長に提言します。

また、行政改革を進めていく上では、事業の見直しなどにより市民生活に影響を及ぼすものも少なくありません。そこで、市民の理解と協力を得るために、策定された行政改革大綱をはじめその実施状況などは、広報やホームページ等を通じて広く市民に公表し、行政改革への取り組みを明らかにしていきます。

◆基本方針

今日の社会情勢に適切に対応し、本市が基本理念とする「輝き・やすらぎ・賑わいを　みんなで築くまちづくり」の実現を目指し、市民と情報を共有しながら行政の担うべき役割の重点化を図り、かつ市民の負担と選択に基づいた香美市に適した公共サービスを提供するなど、分権時代にふさわしい簡素で効率的・効果的な行政運営を行います。

なお、この行政改革大綱は、公営企業部門も含めて適用するものとします。

◆８つの重点的事項

１．事務事業の再編・整理、廃止・統合
①事務事業の見直し
②組織・機構の見直し
③公共施設の適正運用
④市有財産の有効活用

２．民間委託等の推進
①指定管理者制度（※１）の活用
②事務事業の民間委託の推進

３．自主財源の確保

４．定員管理の適正化

５．給与の適正化

６．第三セクター等の見直し

７．経費の節減・合理化

８．行政情報の共有化と市民参画
①行政情報の共有化
②市民参画と協働（※２）のまちづくり
③自治組織等の活性化

【用語説明】

※１　指定管理者制度…住民の多様なニーズに効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理運営を民間事業者等を含めた団体に代行していただき、住民サービスの向上や行政コストの縮減等を図ることを目的とした制度。

※２　協働…行政と市民、各種団体、企業などが目標、課題等を共有し、各々の役割を果たしながら共に力を合わせてまちづくりなどの各種施策を推進すること。

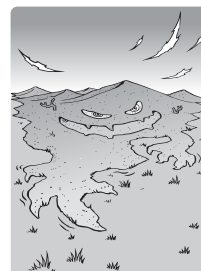
※誌面の都合で一部抜粋して掲載しています。全文内容をご確認される場合は、総務課へお問い合わせいただくか、または市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】
総務課　☎53-1092

土砂災害に備えよう!!
～6月は土砂災害防災月間です～

土砂災害のほとんどは、梅雨や台風時期に発生し、日本各地で被害が生じています。被害を最小限にくい止めるには、事前の備えが大切です！　家族で連絡や避難方法を決めて、天気予報や気象状況には日頃から関心を持ちましょう！！

長雨や豪雨に注意

1時間に20㎜以上、または降り始めからの降雨量が100㎜以上になったときは、土砂災害が発生する恐れがあります。

前兆を知り早めに避難

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。次のような場合は、早めに避難しましょう。

がけ崩れの前兆	地すべりの前兆	土石流の前兆
・がけから水が湧き出る ・地下水や湧水が止まる ・がけにヒビ割れがおきる ・小石が落ちてくる **【がけ崩れとは？】** 雨水がしみ込んで、柔らかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。日本で最も多いといわれる土砂災害です。	・地面にヒビ割れがおきる ・井戸や沢の水がにごる ・がけや斜面から水が吹き出す ・家や、よう壁に亀裂が入る **【地すべりとは？】** 弱い地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力でゆっくり下方へ移動する現象です。	・山鳴りがする ・雨が降り続いているのに水位が下がる ・川がにごったり、流木が流れる ・腐った土の匂いがする **【土石流とは？】** 長雨や集中豪雨などにより、山腹や渓流の一部が一気に下流へ押し流されます。強大な威力とスピードで進行方向にあるものを破壊します。

雨の強さと被害

1時間雨量（㎜）	予報用語	想定される被害
１０以上～２０未満	やや強い雨	ザーザーと降る。雨の音で話し声がよく聞き取れない。
２０以上～３０未満	強い雨	どしゃ降り。下水や小川があふれ、小さながけ崩れが発生。
３０以上～５０未満	激しい雨	バケツをひっくり返したような雨。がけ崩れがおこりやすい。
５０以上～８０未満	非常に激しい雨	滝のように降り、地下に水が流れ込む。土石流がおこりやすい。
８０以上	猛烈な雨	大規模な災害が発生する恐れが強い。厳重な警戒が必要。

※避難場所の一覧については、広報香美５月号の５ページをご覧ください。

【問い合わせ先】防災対策課　☎　５３－１０６１